

Respite Stellam, Voca Mariam !



小鳩会通信

～私たちのしていることは大海の一滴にすぎないと感じています。

けれど、もしその一滴がなければ、海はその一滴分、確かに少ないということです。～マザー・テレサ

7月10日（月）6・7限 大阪明星学園 創立125周年記念講演

苦難を越えて～義肢製作を通して見つめる いまのルワンダ～

ガテラ・ルダシングワ・エマニュエルさんと妻の真美さんは、義肢を無償で提供する活動を続けています。ガテラさんご自身も足が不自由です。

ルワンダ虐殺では、手足を切断された人々も多くいました。お二人による義肢の無償提供は、1994年のルワンダ虐殺後の1997年から、ずっと続けられ、人々の生活を支えているのです。

小鳩会からも、ささやかではありますが、皆さんの気持ちを集めた寄付を届けてきました。

この講演を通じて、学園の建学の理念である「地の塩・世の光」を再確認して、他者に手を差し伸べることをいとわない「明星紳士」の生き方を模索してほしいと願っています。

保護者会校内募金

5月10日（水）、五月晴れの中、保護者会募金を聖堂前で行いました。今回はウクライナ難民支援と子ども食堂のために支援をお願いしました。たくさんの保護者の方々のご協力くださり、また、下校途中の生徒の皆さんも立ち止まって献金してくださいました。本当に感謝します。ウクライナおよび、子ども食堂へ集う子どもたちへの祈りと合わせて、献金させていただきます。



2学期も保護者会募金を予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。

備蓄の非常食運び出しボランティア活動報告

5月27日（土）放課後、消費期限が近づいている非常食や水を、本校の防災備蓄倉庫から運び出し、トラックへ積み込む作業を実施しました。ボランティアを募集したところ38名の方が参加してくださいました。ココアパンや山菜おこわなど非常食約3000食、ペットボトルの水、約3000本など、全部で300箱

ほどありましたが、あっという間に運び出し、トラックに積み込むことができました。米一合運動で支援している「ふるさとの家」に献品して、ご利用いただくこととなります。改めて一人ひとりの力は小さくても、大勢集まれば大きな力になるものだと実感しました。ご協力くださったボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。



◆今回の献金期間と献金先◆ 7月4日（火）～7月20日（木）終業式

- こどもの生活のために…こどもの里（大阪市西成区）
- こどもの生活のために…児童養護施設 京都聖嬰会（京都市北区）
- ルワンダでの義肢製作支援…ムリンディジャパン・ワンラブ・プロジェクト

小鳩会委員は、担任の先生と相談して、献金期間のうち都合のよい機会を活用してクラス献金をお願いします。

7月22日(土) 若王寺こども食堂のボランティアを募集します

【概要】 ※詳細は参加者に Teams を通じて直接連絡します。

- 対象： 高校 I 年生～Ⅲ年生 ※部活単位で参加の場合には中学生も可。
- 集合～解散： JR 東西線 塚口駅集合・解散 午前 10 時頃～午後 3 時頃 ※詳細未定
- 内容： お弁当の受け渡し。ミニ縁日をしますので、模擬店員になって子どもと交流。その他お手伝い。
- 申込み方法： 宗教部佐々木先生のお机（職員室中央入口・鍵箱すぐ）に申込み用紙があります。各自で訪問して、用紙に必要事項を記入してください。7月12日（水）8:00 〆切。